

小児科 初期研修カリキュラム

I 目標 (GIO)

小児、新生児の主治医として、指導医のもとに、以下を学ぶ。

II 行動目標 (SBO)

1. 小児科病棟研修

1) 小児科領域の疾患の病因、診断、治療を学ぶ。

(1) けいれん性疾患

(2) ウィルス感染症 (麻疹、流行性耳下腺炎、水痘、突発性発疹、インフルエンザ)

(3) 細菌感染症

(4) 小児喘息

(5) 先天性心疾患

2) 診察の方法を習得する。

3) 診断に必要な検査の内容を学ぶ。

4) 採血、腰椎穿刺、点滴などの方法を学ぶ。

5) 本人、家族への説明、配慮などの方法を学ぶ。

6) 他科へのコンサルテーションを通じ、小児科以外の指導も受け、広い範囲の診断能力を身につける。

2. 小児科外来研修

1) 小児科一般外来に多い疾患について、問診、視診、触診の方法を学ぶ。

2) まれであるが重要な疾患を見逃さないためのポイントを習得する (例えば、腸重積症など)。

3) 外来における必要最小限の検査の内容を習得する。

4) 本人、家族に対して、疾患についての適切な説明の方法を学ぶ。

5) 子どもの病気に不安を感じている家族への配慮を学ぶ。

3. 小児保健研修

1) 乳児検診 (主として 1 ヶ月、3 ヶ月) の診療のポイントを学ぶ。

2) 予防接種の内容と実際の接種の際の注意点を学ぶ。

4. 新生児病棟研修

1) 新生児仮死、呼吸障害、高ビリルビン血症など新生児の疾患についての病因、診断、治療を学ぶ。

2) 帝王切開、骨盤位分娩など異常分娩に立ち会い、新生児の処置を学ぶ。

3) 新生児の採血、点滴の手技を学ぶ。

4) 育児指導の見学をし、1 ヶ月までの育児の方法を学ぶ。

5) 両親への疾患の説明、配慮について学ぶ。

Ⅲ 方略

・各種勉強会への参加を積極的に行う

- 1) 当院の小児科勉強会において、小児科の疾患について勉強したことを発表する。
- 2) 近隣の小児科及び周産期の勉強会に積極的に参加し、小児、新生児に対する知識を広く習得する。